

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28118 プログラム名 薬づくりのための「化学反応」を体験しよう！



開催日：平成28年7月30日(土)

実施機関：東邦大学

(実施場所) (東邦大学習志野キャンパス薬学部A館)

実施代表者：氷川 英正

(所属・職名) (薬学部・准教授)

受講生：小学生25名

関連URL：<http://www.phar.toho-u.ac.jp/event/medclass2014.html>

【実施内容】

・受講者にわかりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

- ①科研費の説明の際には、送付されたリーフレットを用い、参加者にわかりやすく説明を行った。
- ②実習プログラムは受講者の希望をもとに午前と午後で2つのコースを体験できるようにコース分けし、2～3人1組となって相互に協力しながら実習を進められるようにした。

・当日のスケジュール

- 10:00～10:30 受付(名札・白衣の配付)
- 10:30～10:35 開講式
- 10:35～10:45 「ひらめき☆ときめきサイエンス」の説明
- 10:45～11:05 講義「薬づくりのための「化学反応」を体験しよう！」
- 11:05～11:10 午前の部・スケジュール説明・諸注意
- 11:10～11:20 休憩(トイレ・移動)
- 11:20～12:30 午前の部・体験実習 ※テキスト配付
- 12:30～13:25 昼食(学生食堂)
- 13:25～13:30 午後の部・スケジュール説明・諸注意
- 13:30～14:40 午後の部・体験実習 ※テキスト配付
- 14:40～15:10 修了式(未来博士号授与・アンケート記入・クッキータイム)
- 15:10 終了・解散

・実験の様子

●講義「薬づくりのための「化学反応」を体験しよう！」



●実習①「色はなぜ変わるの？」



●実習②「食べ物を使った実験をしてみよう」





●修了証書「未来博士号」授与式



・どのコースも積極的に実験に参加する受講者の姿が見られた。

・事務局との協力体制

- ① 学事統括部が学術振興会への連絡調整と提出書類の確認・修正、委託費の管理と支出報告書の確認を行い、習志野学事部入試広報課で近隣の高校に広報活動、受講生への連絡、名札の作成等の当日に向けての諸準備を行った。
- ② 書類や資料を管理するフォルダを共有し、相互の協力体制を整えた。

・広報活動

- ① 6月上旬から薬学部ホームページで実習の内容等を告知し、6月下旬に申込み受付を開始した。
- ② A4判の案内チラシを作成し、近隣の小学校200校程度に発送した。

・安全配慮

- ① 実施協力者、受講者の全員が1日間の傷害総合保険に加入した。(その他実施者については、大学が加入している保険を適用。)
- ② 実習の際は、1テーブルの人数を8名(2人×4組)までとし、各テーブルに指導員(教員、学部生)を1名以上配置した。
- ③ 午前と午後の部、それぞれの実習の前に受講生を集め、注意点を明確に指示した。
- ④ 受講者全員に簡易式白衣を配布した。
- ⑤ 薬品を使用する実験では、手袋と安全メガネを着用させた。

・今後の発展性、課題

申込から参加までの流れがスムーズになるよう、受付開始日を実施日近くに設定した。本学薬学部ホームページへの掲載と、近隣の小学校へのチラシ配布の効果もあって、受付開始日より申込が殺到し、2~3日で募集終了となった。当初、定員を超える30名での実施を予定していたが、5名の欠席者が出て、当日は定員25名での実施となった。次年度以降も、積極的な広報活動を通じて、薬学教室の運営を継続していければと思う。

【実施分担者】

五郎丸 美智子 薬学部・准教授

関 広美 薬学部・講師

吉川 晶子 薬学部・助教

【実施協力者】 11 名

【事務担当者】林 誠司 学事統括部・課長